



平成27年11月10日

各 位

会社名 日新製糖株式会社  
代表者名 取締役社長 樋口 洋一  
(コード番号 2117 東証第二部)  
問合せ先 取締役 執行役員 総務部担当 大久保 亮  
(TEL. 03-3668-1246)

## 新たな資本政策の決定および平成28年3月期配当予想の修正に関するお知らせ

当社の株式は、平成27年11月6日付にて公表いたしました「東京証券取引所市場第一部指定承認に関するお知らせ」に記載のとおり、平成27年11月13日(金)をもちまして、東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されることとなりました。

当社は、本日開催の取締役会において、今般の第一部指定変更を機に下記のとおり新たな資本政策を決定するとともに、平成28年3月期の1株当たり期末配当予想を修正(増額)することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当予想修正の理由

以下の「資本政策の基本的な方針」に基づき、連結配当性向(DPR)60%、または連結株主資本配当率(DOE)2%のいずれか大きい額を基準に配当を行うことを中期的な配当方針とすることといたしました。

この結果、平成28年3月期の年間1株当たり配当予想額を、平成27年10月30日に公表いたしました業績予想に基づき、前回予想の60円から155円に修正させていただきます。

#### 「資本政策の基本的な方針」

当社は、豊かで快適な生活の実現のため、『食』と『健康』によりお客様に貢献することを使命とし、この使命を「総合甘味サプライヤー」として実現することをめざします。資本政策は、この理念に基づき実施してまいります。

当社の資本政策は、以下の4項目により構成しています。

##### (1) 中長期的なROE向上

当社は、株主資本利益率(ROE)を持続的な企業価値増大に関わる中核的な指標と捉えています。売上高利益率、財務レバレッジ、および総資産回転率を常に改善し、平成31年度5%、平成36年度8%をめざします。

##### (2) 安定性に業績連動を加えた株主還元

株主還元については、連結株主資本配当率(DOE)の目標値を設定し、継続性・安定性を保持した上で、当期利益に対する比率(連結配当性向(DPR))目標を設定し、業績が好調な場合の連動性を高めた配当を実施します。配当に加え、自己株式の取得については、市場環境、資本効率等に鑑み適宜実施する可能性があります。

(3) 長期的な成長と総資産回転率向上のための投資採択基準

長期的な成長と総資産回転率向上のための投資の規律として、リスクと戦略性のランク別に、投下資本利益率と投資回収期間を設定し、投資を厳選します。

(4) 財務レバレッジの向上と安定性のバランス

成長投資の加速と株主還元の増大により、財務レバレッジを長期的に改善するとともに、継続的・安定的に企業理念を実現するため、健全なバランスシートを維持し、結果としてROEの持続的な改善を実現します。

当社では、こうした資本政策によって、成長投資と安定した株主還元を両立し、持続的な株主価値向上に努めていきます。

2. 修正の内容

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成27年10月30日発表)	—	60	60
今回修正予想	—	155	155
当期実績	—		
前期実績 (平成27年3月期)	—	60	60

【1株当たり配当予想額の算定式】

連結配当性向(DPR)60%基準

1株当たり予想連結当期純利益258.13円の60%=155円(1円未満切上げ)

連結株主資本配当率(DOE)2%基準

期末1株当たり予想連結自己資本6,752.49円の2%=136円(1円未満切上げ)

連結配当性向60%基準155円の方が大きいため、155円を1株当たり配当予想額といたします。

なお、配当案につきましては、実際の業績に基づき、平成28年6月開催予定の第5回定時株主総会に付議する予定です。また、本資料に記載されている配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当は業績その他様々な要因により変更される可能性があります。

以上